

参加費
無料!

医療機関向け

サイバーセキュリティワークショップ

(共同企画：近畿総合通信局、関西健康・医療創生会議)



病院も危ない!

サイバー攻撃で診療システムを止めないために

近年、医療機関においてランサムウェア被害など深刻なセキュリティインシデントが相次いで発生しています。

いつ発生するかわからないセキュリティインシデントに対応するためには、日頃からのチェックや訓練等が必要です。

本ワークショップでは、講演に加えて、**セキュリティインシデントの体験が可能なシミュレータを使用した医療機関に特化したインシデント演習を通じて、インシデント発生時の対応や意思決定の要点を体感的に理解**していただき、医療機関全体のセキュリティ意識及び対応力の向上を図ることを目的として開催します。

日時

令和8年7月23日(木) 14時~17時

(受付 13時30分)

会場

AP大阪茶屋町 会議室D+E

(大阪市北区茶屋町1-27 ABC-MART梅田ビル8F)

対象

病院関係者(公立病院、基幹病院等)、
地方公共団体の担当者(DX担当部門、病院運営担当部局)等

定員

現地40名(先着順)
オンライン【講演のみ】定員なし(Webex)

持ち物

インターネット接続可能なPC(現地参加者に限る)

▼参加申込はこちら


参加を希望される方は、
下記URLまたは二次元コードよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/3181ZjaHDa>

申込期限：令和8年7月16日(木)17:00まで



セミナー内容/タイムスケジュール

| | |
|-----------------|---|
| 14:00～ 14:05 | 開会挨拶 近畿総合通信局 |
| 14:05～ 14:25 | 講演① 「サイバーセキュリティを取り巻く状況と実践的サイバー防御演習(CYDER)について」 国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所ナショナルサイバートレーニングセンター 副研究センター長 松島 研 氏 |
| 14:25～ 14:55 | 講演② 「『うちは大丈夫』が通用しない時代の医療機関の情報セキュリティ～医療現場・患者視点で考えるインシデント対策の実践～」 大津赤十字病院 DX推進室長 兼 事務部 医療情報課長 橋本 智広 氏 【講演概要】 医療現場では病院DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応が加速する一方、サイバー攻撃やシステム障害といったリスクへの備えがこれまで以上に重要となっています。 本講演では、医療現場におけるインシデント対策の実践的な取り組みについて解説します。情報システム担当者を中心に、現場職員が直面する課題や対応事例を紹介します。 |
| 14:55～ 16:55 | 演習 「AIインシデントシミュレータによる実地訓練」 一般社団法人医療サイバーセキュリティ協議会(MedCSC) 【演習概要】 参加者でグループを作り、病院におけるランサムウェア感染事例などAIが生成するインシデントシナリオに沿って、表示される対応策を選択しながら、実際のサイバー攻撃のパターンを体験できる訓練です。 (参考) https://medcsc.org/hcare-ai-incident-simulator/  【訓練紹介ページ】 |
| 16:55～ 17:00 | 閉会挨拶 関西健康・医療創生会議 |

【個人情報保護方針】

・ご記入いただいた情報は、以下の目的にのみ利用します。

- (1) 本ワークショップの参加受付および当日のチーム編成
- (2) 本ワークショップに関する事前・事後の連絡（案内、資料送付、アンケート依頼等）
- (3) 統計的処理による事業運営の改善（個人を特定できない形式に加工した上での集計）
- (4) 今後開催される関連イベントのご案内

・ご記入いただいた情報を、本人の同意なく第三者に提供することはありません。ただし、上記目的の利用に限り、運営協力機関（関西健康・医療創生会議及び医療サイバーセキュリティ協議会等）と共有する場合があります。

【問い合わせ先】

総務省 近畿総合通信局 サイバーセキュリティ室

TEL:06-6942-8546 e-mail:security-kinki@soumu.go.jp

主催：近畿総合通信局

共催：関西広域連合、関西健康・医療創生会議、一般社団法人医療サイバーセキュリティ協議会（MedCSC）、NPO法人関西健康・医療学術連絡会、関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿総合通信局、近畿経済産業局、一般財団法人関西情報センター）、近畿地域の医療機関における電波利用推進協議会

